

高電圧絶縁抵抗計

高電圧絶縁抵抗計 DI-05N (5000V) / DI-06 (6000V)

高圧電路の良否判定に最適な5000V/6000V出力の高電圧絶縁抵抗計

- 試験印加電圧は-5kV(DI-05N)又は-6kV(DI-06)の固定出力
- G(ガード)接地法で測定することにより、敷設された高圧ケーブルから高圧機器・器具を分離することなく、ケーブル絶縁層の抵抗の測定が可能(R_0 値=10k Ω)
- 試験対象物の絶縁抵抗が低い場合、垂下特性により試験電圧が抑制し保護することで非破壊試験が可能
- 測定範囲は1M Ω ~10000M Ω とワイドレンジ 見やすいワンスケール目盛りを採用
- 試験終了時に試験電圧の放電機能が自動で動作
- 小型・軽量(1.1kg)で、丈夫なウエルドケースへコンパクトに収納が可能
- 緊急応動時に便利な単三乾電池を使用



DI-05N (5000V)



DI-06 (6000V)

外形寸法: 200(W) × 140(D) × 77(H)mm
重量: 約1.1kg(電池含まず)

G(ガード)接地測定適用品

G(ガード)接地法での測定は、金属遮へい層(シース)の絶縁抵抗 R_s が1M Ω 以上の場合に有効です。本器内部抵抗 R_0 (10k Ω)との抵抗比率により、99%以上の高い確度で、敷設中のケーブル絶縁層の抵抗測定が行えます。本製品の場合には、配線のつなぎ換えが必要です。

| 仕様 | | |
|---------|--|-------|
| 型名 | DI-05N | DI-06 |
| 定格測定電圧 | 5000V | 6000V |
| 有効最大表示値 | 10000M Ω | |
| 測定範囲 | 第一有効測定範囲: 10M Ω ~5000M Ω 第二有効測定範囲: 1M Ω ~10M Ω および5000M Ω ~10000M Ω | |
| 許容差 | 第一有効測定範囲: 表示値において $\pm 5\%$ 第二有効測定範囲: 表示値において $\pm 10\%$ | |
| 無負荷電圧 | 定格測定電圧の1.1倍 5500V以下(6600V以下) | |
| 表示方式 | 指針形アナログ指示方式 | |
| 応答時間 | 中央表示及びゼロ表示において3秒以内 | |
| 試験表示機能 | 電子ブザー・PL表示灯 | |
| 絶縁抵抗 | DC5000V(6000V)にて1000M Ω 以上(回路—外箱間) | |
| 耐電圧 | AC5000V(6000V) 1分間耐(回路—外箱間) | |
| 使用電池 | 単三乾電池(R6P) 8本 (公称電圧 DC12V) | |
| 電池有効範囲 | PL表示灯(赤LED) DC8.4V以上: 点灯 DC8.4V以下: 点滅 | |
| 使用環境 | 使用温度範囲: 0~40 $^{\circ}$ C 使用湿度範囲: 0~80%Rh | |
| 負荷放電機能 | 放電抵抗: 5M Ω 放電時間: 60秒以上動作 | |

付属品

- 高圧(LINE)プローブ..... 1本
- 接地(EARTH)コード..... 1本
- ガードコード..... 1本
- 本体ウエルドケース..... 1個
- コード収納ケース(Bケース)..... 1個
- 単三乾電池..... 8本
- 取扱説明書..... 1部

別売オプション

- DI-11N用 ラインコード(先端クリップタイプ)

高電圧絶縁抵抗計による G(ガード)接地法測定

受電設備の引込みに使用される電力用ケーブルは、敷設時にPASやUGS等の区分閉閉器や電力会社の計器用変成器(VCT)が接続されている為に、単純な回路=芯線と接地間の測定では正しいケーブルの良否判定が行えません。

G(ガード)接地法では、これらの高圧機器を分離することなく、ケーブル絶縁層のみの絶縁抵抗(R_c)の測定が行えます

